

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・夏休みやイベント等が多い月になっていくので、乗客数の増加と客単価の上昇が見込める。
		コンビニ（経営者）	・冬は大雪が降れば数日は悪かったが、大雨はそれほど心配していない。天候に左右される幅が少ない分、今の好調さに期待できると考えている。きめ細やかな品ぞろえや接客などで更に上向きよう目指したい。
		衣料品専門店（統括）	・これから最盛期になる祭り用品を扱っている。多少景気には左右されるものの、季節的にはこれから2～3か月先までは順調に売上が伸びる時期である。例年のことでもあるが、最近もやや客の出入りが多くなってきている。
		観光型ホテル（経営者） 旅行代理店（経営者）	・夏休みに入れば、ファミリー層を中心に乗客数の増加を期待できるためである。 ・夏場に向かって非常に景気が上向きになってきているので、これから乗客数、利用単価共にさらに増えるのではないかと見込んでいる。
やや良くなる		一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏物商材、エアコン等の動きに期待している。
		百貨店（営業担当）	・株高といい、やはり景気回復への期待感があり、夏のボーナスも上昇するという話があるので、悪くはない。
		百貨店（店長）	・新聞等によると、夏のボーナスが前年より増加する見込みということである。乗客数も微増している。
		スーパー（店長）	・急激に良くなるとは思えない。近々の状況から見ると、微増というのが一番合っていると思う。
		スーパー（総務担当）	・株価の上昇、輸出産業の好調、ボーナスの上昇などで家計の収入が増えて消費に回ること期待している。
		コンビニ（経営者）	・今までの経験からしてコンビニ経営のなかでは季節的に夏が一番売れるので、これからはやはり伸びていく。ただし、最近たばこを吸う人が減ってきてしまったようで、たばこの売上が非常に落ちているという懸念材料はある。
		衣料品専門店（販売担当）	・今月中旬以降は客の来店する頻度も比較的高くなってきたし、会話のなかでも明るい表現が目立ってきたような気がする。その表れなのだろうが、客がクレジットカードを使うようになり、しかも比較的単価が高い物まで手を出してくれるようになってきており、幾分先行きに安心感を持ちながらの生活になってきたのかなという期待感がある。
		家電量販店（店長）	・梅雨時期から夏にかけて売上の柱は、エアコンと冷蔵庫となるが、暑さに左右される部分が多い。扇風機の売価ラインは4,000円～5,000円がボリュームゾーンであったが、今年は省エネや付加価値がついた20,000円以上のラインナップが多いので期待が大きい。
		乗用車販売店（経営者）	・地元大手自動車メーカーの史上最高の純利益は円安による為替差益の部分が影響しているようである。当地域で金の循環が始まるころなので、そろそろやや良くなり始めると期待したい。いずれにしろ、アベノミクスによる効果も含め、半年先、1年先は読めない。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が出ることと天候の良い日が多いことで乗客数が増え、売上増が期待できる。
		住関連専門店（経営者）	・商工会議所や銀行等の会合において、ほとんどの業種業態で設備投資等の前向きな意見を聞くことが多くなってきている。
		一般レストラン（経営者）	・昨年より客に明るさを感じられるが、もう一步のところにいる感じである。
		スナック（経営者）	・全体に明るさが戻ってきているような気がする。期待感だけでも効果はあると思うので、このまま良くなってほしい。
		観光型ホテル（営業担当）	・今年に入ってからの宿泊客数を前年と比較すると、毎月わずかながら増加している。宴会部門もおおむね好調である。
		都市型ホテル（支配人）	・インターネットの予約情報によると、今年の海水浴客、海の近くの旅館とホテルの予約は大分入ってきているようである。
		都市型ホテル（営業担当）	・ビジネスホテルなので、現在の景気が良くなっていくような傾向に合わせ、企業などが必要なところに必要なお金を使おうという傾向が出てきており、出張旅費などは必要経費という判断をされるようになり、まだ少し伸びていく傾向にある。
旅行代理店（所長）	・若干、株式相場に不安材料はあるものの、夏休みのレジャーも国内の期待があるので、当面現状維持できそうである。		

	旅行代理店（営業担当）	・これから夏に向けて旅行需要が増加する傾向にあるので、やや良くなる。
	通信会社（経営者）	・良くなる材料はない。例年、決算総会時期が終わった6月からは多少なりとも受注が増える傾向があるので、せめて期待はしたい。
	通信会社（営業担当）	・不動産関連の消費も高まるなかで、物価上昇に備えた消費が続くと思われる。
	テーマパーク（職員）	・東日本大震災の影響が薄れると共に、スカイツリーから当地区に来る客が増加する。
	遊園地（職員）	・富士山の世界文化遺産登録の勧告があり、今後は来客数の増加が見込まれる。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・仕入れ代金、及び経費関係の単価が上昇気味に変わっている。今のところ逆にそれをカバーするのはなかなか厳しいが、これからある程度皆の可処分所得が増えてくれば、遅れて我々の業界も良くなっていくのではないかと考えている。
	美容室（経営者）	・今年は梅雨入りが10日ほど早いので、梅雨明けが早まると同時に、夏は暑くなると予測される。そのため、美容院ではショートヘアが流行るかもしれない。
	住宅販売会社（経営者）	・9月30日の時限的な救済法が決まり、それまでは駆け込みの需要がありそうである。住宅を建てる前に土地を購入しないといけないので、必ず駆け込みはあると思われる。
	住宅販売会社（従業員）	・販売は順調すぎるほどだが、技術者不足が深刻であり、施工体制の強化を進めているところである。ただ、当面は工期の調整等で対応するほかないだろう。
変わらない	商店街（代表者）	・寒くなってくるとやや変わってくるだろうが、今のままできいと、まだ2～3か月はそう落ち込みもなく、変わらない。
	一般小売店[精肉] （経営者）	・各地域でいろいろな団体の総会が行われている。皆の話題のなかでも良くなることを期待しているが、まだ難しい状態である。アベノミクスに期待している。
	一般小売店[乳業] （経営者）	・消費動向が良くなっているという実感はまだない。
	一般小売店[家電] （経営者）	・消費はどこに流れているのか、消費者の商品への購入意欲が見えてこない。商品は徐々に値上がり傾向で、消費税増税も控えた流れのなかでの売上増を期待したいところである。
	百貨店（販売促進担当）	・現状では円安や株高によるプラスマイナスの影響はあまり感じられないが、クールビズ関連や化粧品等のUV対策商品が比較的好調に推移していることから、盛夏に向けてやや期待が持てる。
	百貨店（販売促進担当）	・夏期賞与の大幅増額があれば消費に回るだろうが、地方の大半の企業は内部留保を優先し、賞与増を行うことはなく、一般消費者の慎重な消費行動は継続すると思われる。
	百貨店（店長）	・地方都市では、ボリュームを形成する層の賃金上がることや将来の見通しが良くならなければ、ここから先の景気上昇を望むことは難しい。
	百貨店（店長）	・売上から見るとやや良くなっているが、勢いはない。
	スーパー（店長）	・曜日ごとの来客数は数か月間変化がない。
	スーパー（統括）	・1点単価は変わらないが、来客数が安定しており、1人当たりの買上点数が増えて客単価が上昇してきているので、参議院選挙のころまでは、今の状態が続く。
	スーパー（経営企画担当）	・大手企業の夏のボーナスが増額するという報道がある一方で、パンなどの小麦関連商品や油の値上げが消費を引下げてしまうのではとの懸念もある。
	スーパー（商品部担当）	・円安でマヨネーズや小麦、油などの一部商品の値上げ、消費税増税など、消費傾向の上昇要素が見受けられないためである。
	コンビニ（経営者）	・株高等にみられる回復が消費につながってもらいたいという気持ちと、円安に伴う原油や諸材料の値上げが結果的に消費を抑えてしまうのではという気持ちと、プラスとマイナスの引っ張り合いな気がしている。客の買物にもそんな先行き不安な気持ちが表れている。
	コンビニ（店長）	・同業の新店の影響がここまで出てくるとは予想していなかった。出店が生活、行楽動線上であったため、ゴールデンウィークに出掛けた客が新店の便利さを学習した結果だと思う。今後はとにかく現状以下にならずに落ち着くことを願うばかりである。
	コンビニ（店長）	・このところキャンペーンなどで来客数が若干戻ってきたようなので、ひとまずは良いのだが、特別そういうものがなければ、来客数が大きく増えたり減ったりする状況ではない。
乗用車販売店（経営者）	・ガソリン価格が高くなったままで、個人ユーザーは車の使用を控える傾向があり、自動車関連の消費が増える様子は見られない、この傾向はしばらく続く。	

乗用車販売店（統括）	・夏場になると比較的販売量が低下傾向になる。	
乗用車販売店（販売担当）	・何か特別な景気浮揚策でもあって、田舎の方に波及してくれば別だが、大して変わらない状況で、販売台数も毎月大体同じくらいで、あまり良くないが、良くないなりにそこそこの台数が出ているので、このような状態が2～3か月先も続くのではないかと考えている。	
乗用車販売店（販売担当）	・車の販売量は横ばいだが、サービスの入庫が減っている。全体的には変わらないが、アベノミクスの効果も我々の商売ではなかなか出ない。出るのもっと先になると思うので、このまま景気は変わらない。	
乗用車販売店（営業担当）	・客の動きはあるが、新車の商談があまり出てこないのが気掛かりである。	
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りには特に良くなる材料はなく、むしろやや低調である。しかし、今の株高などが世の中の雰囲気盛り上げてくることで多少良くなると思っている。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・円安により石油製品の価格が影響を受ける。	
高級レストラン（店長）	・何かある時には多少お金を使うが、普段の生活はまだまだ節約傾向が強く、悪いまま変わらない。	
一般レストラン（経営者）	・アベノミクス効果で経済状況が上向きだとテレビ等で報道されているが、地方では効果の表れというのはまだ遠い。	
一般レストラン（経営者）	・悪くなることはないと思うが、サービス業、特に飲食業に対する消費者の見方は今までの感覚が根付きすぎて、実際は物価の上昇に苦しむという形に拍車が掛かってくるように思われる。	
スナック（経営者）	・本当に先行きがまだ見えない、分からないという状態である。	
観光型旅館（経営者）	・景気回復で収入が増えても、休日や余暇が減ると旅館業では客が減る傾向となる。	
都市型ホテル（スタッフ）	・6、7月は地方都市においては農繁期で田植えなどで客の動きが少し止まるのではないかと心配している。しばらくの間は変わらず、このままの状態が続く。	
旅行代理店（副支店長）	・先行きの受注などはほぼ前年並みであり、夏休み期の客の動き方次第では良い方向に向かっていく可能性もある。ただし、為替の影響もあって海外旅行については先行きが懸念され、その分、国内旅行の受注が増える可能性が高い。このままの状況なら今後期待が持てそうである。	
タクシー（経営者）	・利用客が少ないのでこの先も変わらない。	
通信会社（経営者）	・新規加入の流れが続かない。	
通信会社（総務担当）	・個人消費が低迷し、売上が伸び悩んでいるなかで、円安の影響により材料仕入れの値上がり懸念される。	
通信会社（局長）	・生活上のランニングコストは少しでも節約したいという考えが根強く、節約傾向に変化はない。	
競輪場（職員）	・他場の記念競輪の売上もほぼ前年と同じような売上で推移しているからである。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・周年のキャンペーンを行ったが、その時だけのスポット的な動きに終わるものと思われる。また、将来的にも販売量、来客数共に各テナントの予約状況を見ても横ばいと判断されるので変わらない。	
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・一部大手企業の業績は回復しているようであるが、地方ではあまり感じられない。	
設計事務所（経営者）	・2、3か月先まで予定が入ってきており、忙しい状況が続く。	
設計事務所（所長）	・新しい話も線香花火の感が否めない。あと1～2か月が限界かと思っている。	
設計事務所（所長）	・回復する材料がない。イベントをやっても成果が見られない。今後の景気の回復は期待できない。	
住宅販売会社（従業員）	・観光シーズンのピークで、そこそこの集客が期待できる。	
住宅販売会社（経営者）	・地方の当地域ではまだ不動産を買おうという雰囲気にはなっていない。貸店舗、貸家等についても、まだこちらでは全然出店意欲が見受けられない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ここへきて店頭前の車の通行量は増えているが、昼の通行者数が極端に減ってきている。
	商店街（代表者）	・梅雨の季節になると同時に、メーカーでは来月より原単価が上がるとの通達があり、また売れなくなる可能性がある。
	コンビニ（経営者）	・目の前に競合店ができるからである。
	家電量販店（営業担当）	・経済の不安定な状況が購買意識を抑えている。
	乗用車販売店（経営者）	・株価の右肩上がりが止まり、乱高下しだして先行きが不透明なためである。

		乗用車販売店（従業員）	・コンパクトカーへの移行で1台当たりの収益が減少している。売上台数の増加で減少分をカバーできてはいない状況である。
		住関連専門店（店長）	・来客数は現状とほぼ変わらないと思われる。また、円安等により、輸入品が多い当社の取扱商品に関しては利益の確保が難しくなってくるのが予想される。
		一般レストラン（経営者）	・観光シーズンが終わり暑さが厳しくなるため、例年来店数が落ちてくる。今年は商工会議所主催で暑さを逆手に取った町おこしのイベントを開催するので期待している。
		タクシー運転手 通信会社（経営者）	・当地域に同業者が1社増えたので、やや悪くなる。 ・LPガス販売においては、通常、需要期が過ぎたこの時期はガス輸入価格が下がるのだが、CP価格が下がっても円安で相殺されてしまいコストが下がっていない。これから夏にかけて使用料が半分近くになるのだが、利幅がなく厳しい状況が見込まれる。加えて市場は、安値顧客争奪戦で保安は二の次の状態となっている。危険物である以上ある程度の規制は必要である。
		ゴルフ場（業務担当）	・今月については好天に恵まれたためか、入場者、売上共に前年を若干上回ることができた。ただし、部門別の単価、売上を見ると、キャディーフィーなどの売上が落ちており、セルフ志向が強くなっているのが実情である。会員募集については予想以上に順調に推移しており、特にシニア層については今まで持っていた金を使いたしたということなのか、募集に賛同して入会している。ただし、景気が良くなってきたかどうかの判断についてはなかなか難しい部分もある。
	悪くなる	商店街（代表者）	・大企業は大変もうがっているが、小さな企業の景気が良くならないと商店街は良くならない。日常生活に必要な食品や日用雑貨品の購買が上向かないと、景気回復はまだ先のようなのである。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・新政権になって以来、株価が上がったりして良いような雰囲気はあるが、アベノミクスは実質的なものではなく、何か不安定な要素にも見える。それで良くなっていくようには感じられず、残念である。
		スーパー（経営者） コンビニ（経営者）	・価格競争の激化によって悪くなる。 ・現在、来客数はほぼ前年並みとなってきたが、客単価が低く、販売量も少なくなってきている。これではまだ良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	・今の調子では、今後良くなる気配が全くない。駅前ですら電車から降りた人だけで、ひっそりとしていて人通りがない。もちろん深夜もない。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・民間大手の産業廃棄物事業者が安全処理装置を導入する機運になりつつあるため、良くなる。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・ワイン組合を中心に新たなイベントを企画して業界全体のかさ上げを図っている。そのほか、今後は富士五湖周辺の売店、ホテル、ペンション等への売上増が見込まれる。
		食料品製造業（製造担当）	・工場直売で集客し、売上の確保に努める。スーパーの価格では原価が叩かれて安くなるが、直売では言い値で売れるので何とかそちらの集客を努めて良くするしかない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・夏から油圧建機分野の仕事が増産になるとの情報が複数あり、ベースとなる売上は確実に安定する。
		建設業（経営者） 金融業（調査担当）	・公共事業の発注が続く。 ・公共工事の増加に加え、製造業でも国内経済の改善が徐々に地方にも波及していくことが期待される。一方、急速な円安に伴う原材料価格の高騰の影響も懸念される。
		金融業（役員）	・自動車関連で7月から秋口にかけて増産計画があることや建築関係で今後かなり公共工事の受注が出るということなので、やや良くなる。
		金融業（経営企画担当） 経営コンサルタント	・サービス業において、富士山の世界遺産登録の影響に期待している。 ・期待先行、イメージ先行の現状の経済が実態的な成長感を実感するにつれて、本格的な投資活動、消費行動につながってくるものと思われる。今後は個別企業のマーケティングと効果的な営業の成否が結果を左右する。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数が徐々にではあるが増加傾向にある。ここ数か月の変化に注力していきたい。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者） 窯業・土石製品製造業（総務担当）	・自社新商品、新体験講座メニューを展開しているが、予想すらかない最悪の状態である。 ・今のところ、2～3か月先に先良くなる様子はない。

	金属製品製造業（経営者）	・どの取引先も注文が少なくなっていて良くなる見込みがない。例えば、換気扇の部品関連の得意先も分からない、その他の得意先も見通しが見つからないということで、とても不安に思っている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・2～3件、新規品の引き合いが来始めたので、ここ2～3か月は人員整理を見送り、様子を見ることとする。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・円安、株高になっても、まだまだ我々中小企業では注文量が増えていない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・開始された新機種の生産計画がまだ不透明である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・現在の低空飛行が続く。今、新規に営業をかけていて多少なりとも実ってきているが、製造業は全般に動きが少ない。地元の大手メーカーが唯一元気が良く、関連の下請会社は忙しいが、他の電機関係はかなり低空飛行で厳しい状況である。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・一部企業では円安、株高、アベノミクス効果の恩恵を受けているようだが、我々は相変わらず受注競争がし烈で、景気回復がいつになるか分からない状況である。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月でも変動が大きく、非常に忙しい月もあるし、仕事が減る状況の時もあるので、2～3か月先は何とも分からない。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・期待感はあるが、現実として一般企業では給与が上がらず、地方公務員は給与の減額に直面しているなかで、プチゼイはたくはあるかもしれないが、宝飾品の需要まではまだ回ってこない。	
	建設業（総務担当）	・業界全体的にも、補正予算による効果が期待だけで終わってしまうことを大変危惧している。予算は順調に執行されているという報道もあるが、とても信じられない。	
	輸送業（営業担当）	・夏場に向かい季節商材等の物量が増える状況だが、現状アベノミクス等の経済効果による景気回復で仕事量が増えるようには考えにくく、逆に運送業界としては円安による燃料高のコスト負担が厳しい状態が続きそうである。	
	通信業（経営者）	・景気回復への期待感ばかりが先行して実体を伴っていないようである。	
	不動産業（管理担当）	・燃料費や資材が値上がり傾向にあり、業務の受注が増えても利益圧迫要因になると思われる。	
	広告代理店（営業担当）	・地方経済の改善の前に景気が失速すると思われる。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・7月に家電量販店の新規出店が予定されており、ボーナス時期と重なり同業他社の応戦が期待される場所である。ただし、民間企業等のボーナス回答は、今のところ成果に対する配分を留保していると話す役員もいる。	
	社会保険労務士	・中小企業の賞与は変わらないため、まだ今年の夏は大きな変化はない。	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仕事量も減ってきているが、利幅も少ない。
		化学工業（経営者）	・関西地区の電気料金値上げのため、仕入原材料が7月から多少なりとも上がりそうである。売価にどこまで転嫁できるか未定である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・仕事が成約できず厳しい状況が続いている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの3か月見通しでは数量が落ち込み始めている。生産の数量から見ると引き続き高水準にあることは変わらないが、円安により燃料価格、素材などが上がり始めているということで、非常に収益が圧迫されつつあり、売上は前年比で減少、原価率も高くなっていくので収益は落ち込む予定という見方をしている。
		不動産業（経営者）	・経済改革の具体策が示されていないことや、これまで日本経済を支えてきた技術や将来必要と思われる資源のない国で生かされるべき職種の労働環境が劣悪であり、将来性が見えない。
	悪くなる	建設業（開発担当）	・公共工事は東日本大震災の復興で人件費が上昇したため、労務単価が何年かぶりに見直された。これまでの数年間は受注しても利益計上が難しい状況が続いていたが、今後は何とか利益計上ができるようになると思われるので期待したい。今期は売上高をアップさせるため、新たに営業ルートを開拓していく計画を実践している。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・円安で輸出型の製造業が活況である。株高で景況感も改善し、県内のアウトレットは盛況である。
(北関東)	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・派遣先の生産計画が発表され、7月までは安定して派遣社員の採用が増加するためである。

	求人情報誌製作会社（経営者）	・5月が悪かったので、今後2～3か月先は元の景気に戻り、やや良くなる傾向である。
	職業安定所（職員）	・中央の大手企業の株高等による良い影響が地方にも現われるところである。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・企業の求めている人材レベルと求職者のレベルのミスマッチは変わらない。一部の求職者以外、将来を展望できる就職は望めないのではないだろうか。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ガソリン価格の動きがあまり見られず、140円台で、運送業界の方に影響が出てきているように見受けられる。住宅関連は公共事業を含めてあまり動きがないように見受けられる。販売員関係は募集傾向は多く見られたが、このあたりは微妙なところである。
	人材派遣会社（経営者）	・テレビなどでは忙しいような報道が多く出ているが、実際、下の方はまだあまり仕事がない。
	職業安定所（職員）	・製造業の求人が伸びていないことや、求人数が増えたとしても正社員求人よりは非正規雇用の求人が増加しているため、変わらない。
	職業安定所（職員）	・アベノミクスなどにより全国的には期待されているようだが、地方である当地域においては、その影響もしばらく先になるものと予想される。主力産業であった製造業も、底打ち状態ではあるが、一部（食品製造）を除き横ばい傾向で推移するものと思われ、非常に厳しい状態が続いている。また、富士山の世界遺産登録などで宿泊業においては観光客の増加が期待されるなど、業界内でも一部で明るい兆しがあると考えているようだが、実際にその影響が表れるのも観光シーズンとなる秋以降になるのではないかとと思われる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・先行き不透明感から、経営者は慎重な姿勢を崩していない。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・ここ数か月の新規求人状況を見ると、前年同月比で2月はほぼ横ばいだったが、3月は5.6%、4月は8.6%の減となっている。対して新規求職者数を見ると、4～6月にかけて早期退職の追加実施もあり、4月以降も前年同月比で7.5%増と見込んでいる。求人減、求職者増という傾向で動いている。また、企業訪問時などに事業主に話を聞いても新規求人はやはり厳しい状況である。
悪くなる	-	-